

実現可能な

気候変動対策

— 政策・経済・技術・エネルギーのバランス —

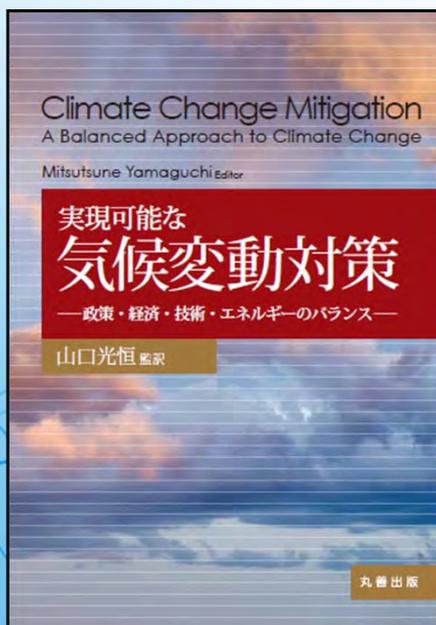
監訳 山口光恒(東京大学先端科学技術研究センター特任教授)

A5判 306ページ / 定価 ¥ 7,140 (本体価格 ¥ 6,800) / ISBN 978-4-621-08657-5

気候変動は主として化石燃料を燃焼するさいに排出されるCO₂の排出によって引き起こされ、いまやこの化石燃料は世界の一次エネルギーの85%以上を占めている。気候変動を緩和する戦略は、経済・社会活動をいかにコントロールしてエネルギー使用、つまり化石燃料の消費に影響を与えるかということと密接に関連している。

本書は気候変動対策の検討と評価にさいして縦のバランス(対策の費用とその便益のバランス)と横のバランス(気候変動対策とエネルギー安全保障や経済とのバランス)の両視点から総合的に考察している。本書に示された分析結果とさまざまな気候変動問題に対する考え方が、気候変動対策の効果的実施の困難性を理解するうえで大いに役立つことを確信している。

—「刊行に寄せて」より抜粋—



執筆者一覧 (五十音順)

監修・著 山口光恒 (東京大学)

秋元圭吾 (地球環境産業技術研究機構)

天野 肇 (ITS Japan)

井上秀雄 (トヨタ自動車株式会社)

大島 明 (トヨタ自動車株式会社)

岡崎照夫 (新日鉄住金株式会社)

荻本和彦 (東京大学)

十市 勉 (日本エネルギー経済研究所)

三村信男 (茨城大学)

渡邊浩之 (トヨタ自動車株式会社)

丸善出版株式会社 〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル

編集部 TEL 03-3512-3262 FAX 03-3512-3272 <http://pub.maruzen.co.jp/>

実現可能な

気候変動対策

— 政策・経済・技術・エネルギーのバランス —

目次

1章 序

2章 気候変動対策の究極目標と、望ましく、かつ実現可能な国際枠組み

- 2.1 気候変動対策の究極目標(気候変動枠組条約第2条)と2°C目標
- 2.2 縦のバランスからみた2°C目標:2°C目標の意味
- 2.3 横のバランスからみた2°C目標:希少資源の効率的配分
- 2.4 望ましく、かつ実現可能な国際枠組み
- 2.5 おわりに

3章 緩和目標と国・地域間における公平な緩和努力

- 3.1 緩和コスト、温暖化ダメージコスト、持続可能な発展の視点からの気候変動緩和目標
- 3.2 主要経済国の中長期排出削減目標の分析
- 3.3 おわりに

4章 バランスのとれたエネルギー安全保障と気候変動対策

- 4.1 3目標(経済発展, エネルギー安全保障, 気候保護)をどう実現するか
- 4.2 各エネルギー源の長所と短所
- 4.3 主要国のエネルギーミックス
- 4.4 世界のエネルギー展望と気候保護の課題
- 4.5 おわりに

5章 緩和コスト

- 5.1 緩和技術のコスト
- 5.2 温暖化緩和の経済影響

6章 緩和と適応のバランス

- 6.1 気候変動の影響
- 6.2 緩和策と適応策の目標と役割
- 6.3 適応策の主流化と持続可能な発展

7章 気候変動政策

- 7.1 国際気候変動政策
- 7.2 国内政策

8章 エネルギー効率向上のポテンシャルと障壁

- 8.1 はじめに
- 8.2 エネルギー効率向上ポテンシャル
- 8.3 技術普及障壁と政策的含意

9章 技術普及・開発

- 9.1 鉄鋼セクターにおける技術の開発・普及および経験
- 9.2 自動車および自動車社会における開発と技術革新

10章 福島第一原子力発電所事故と日本のエネルギー、気候変動政策への影響

- 10.1 日本のエネルギー政策への影響
- 10.2 日本の気候変動政策への影響
- 10.3 福島第一原発事故以降のエネルギー・環境戦略の動向、分析
- 10.4 原子力事業者の責任原則

11章 IPCCとコミュニケーション

索引

注	フリガナ お名前	購入部数	取扱店
文	注文タイトル 実現可能な気候変動対策 — 政策・経済・技術・エネルギーのバランス		
書	お届け先 〒 — TEL: ()		

丸善出版・発行 TEL03-3512-3256 FAX 03-3512-3270 お求めはお近くの書店まで

※ご注文をいただいた個人情報、書店、取次(流通)、弊社間で商品手配(新刊情報)を目的のために利用いたします。

※直接弊社へご注文の際は、代金引換(別途 送料380円)にて承ります。